

報道各社御中 環境省広報室

岡山県での家きんにおける鳥インフルエンザへの対応について
(H27.3.10 13:00)

岡山県笠岡市(かさおかし)において、家きんから、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8 亜型)が検出された件について、「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」(以下マニュアル)に基づき、岡山県の発生農場の半径10kmを野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化してきたところです。

これまでのところ、野鳥監視重点区域の監視において異常は認められていないこと等を踏まえ、マニュアルに基づき、最後の感染確認個体の回収日(家きんでの発生の場合は防疫措置の完了日)から45日後の3月10日0時をもって、野鳥監視重点区域の解除を行いましたのでお知らせします。

全国での野鳥の対応レベルは、対応レベル3として監視を強化しており、引き続き監視を強化。

「野鳥における高病原性鳥インフルエンザに係る対応技術マニュアル」
(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/manual/pref_0809.htmlに掲載)に基づき適切に対応。

環境省はホームページで高病原性鳥インフルエンザに関する様々な情報を提供しています。(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

平成27年3月10日(火)
自然環境局野生生物課鳥獣保護業務室
直通：03-5521-8285
代表：03-3581-3351
企画官：堀内 洋 (内線6470)
鳥獣専門官：根上 泰子 (内線6676)